

平成27年度
東日本大震災による
市内避難者アンケート調査結果

平成 28 年 1 月
八王子市東日本大震災総合相談センター

1 アンケート調査の概要

(1) 目的

東日本大震災による避難生活が長期化している中、八王子市内へ避難されている方の生活状況等を把握し、今後の市の支援体制を検討するため

(2) 調査方法

郵送によるアンケート調査

(3) 調査時期

平成 27 年 11 月 26 日から 12 月 11 日まで

(4) 調査対象

八王子市内に避難されている避難者のうち、本市において把握できている避難者（3 回連続で郵送戻りのあった世帯、不要と連絡があった世帯を除く）84 世帯

(5) 調査内容

世帯の構成、避難理由、避難生活の状況、今後の生活の予定、情報の入手先・活用、市への期待

(6) 回答数

38 件（回答率 45.2%）

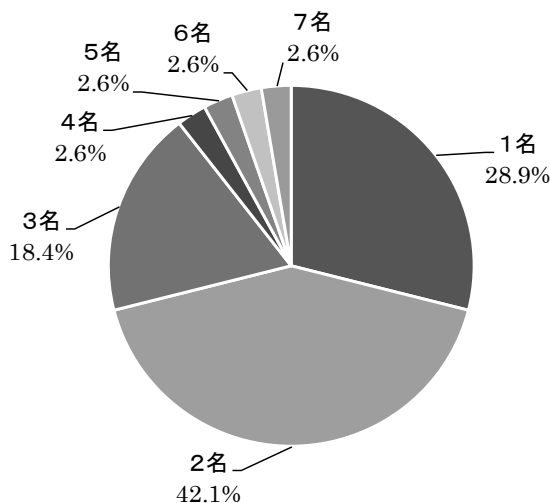
※（回答数÷全回答者数）で計算（小数点第 2 位を四捨五入）しているので複数回答等がある場合、百分率の合計が 100%にならない。

2 アンケート調査結果

[1] 世帯の構成等について

①世帯の人数

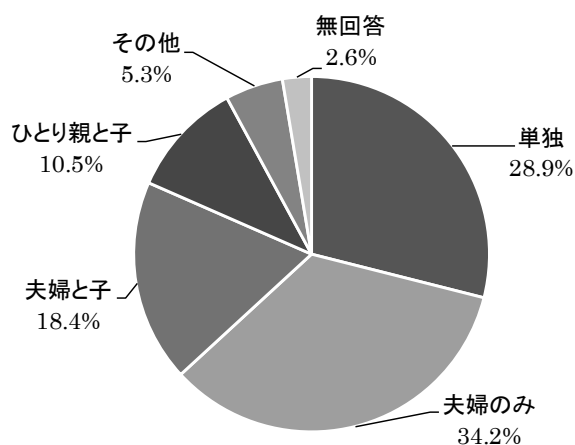
総数 = 38



「2名」（42.1%）が最も多く、次いで「1名」（28.9%）、「3名」（18.4%）となっている。

②世帯類型

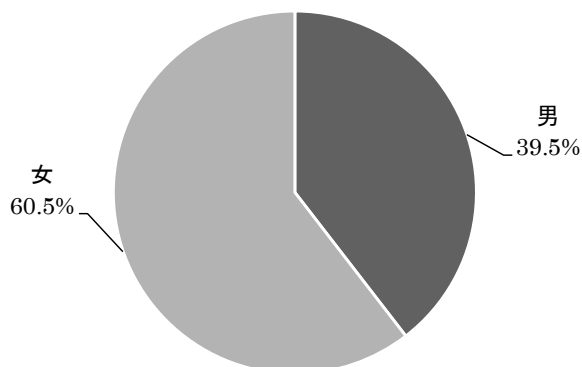
総数 = 38



「夫婦のみ」(34.2%) が最も多く、次いで「単独」(28.9%)、「夫婦と子」(18.4%)、「ひとり親と子」(10.5%) となっている。

③避難者の性別

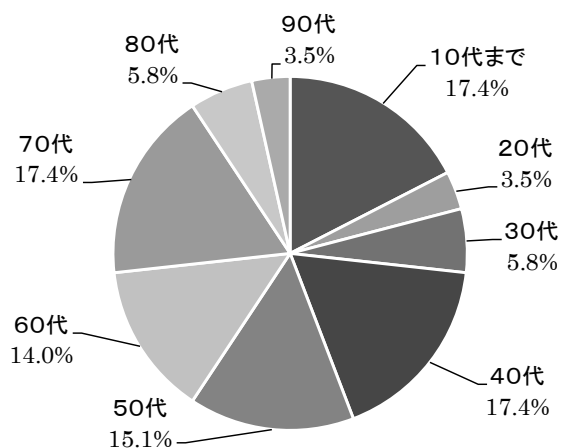
総数 = 86



「女」が 60.5% で、「男」が 39.5% となっている。

④避難者の年齢

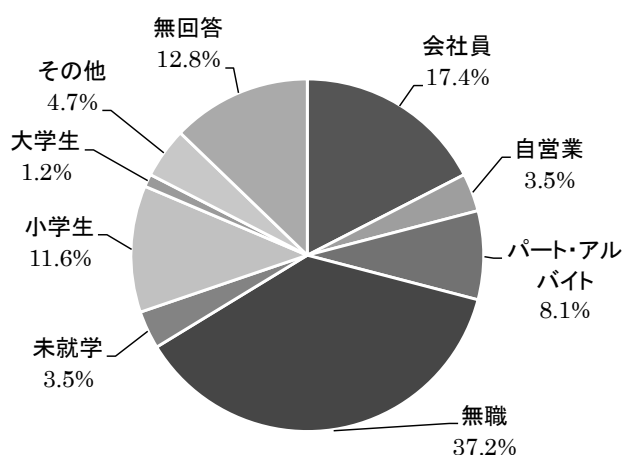
総数 = 86



「10代まで」・「40代」・「70代」(17.4%) が最も多く、次いで「50代」(15.1%)、「60代」(14.0%) となっている。

⑤ 避難者の職業

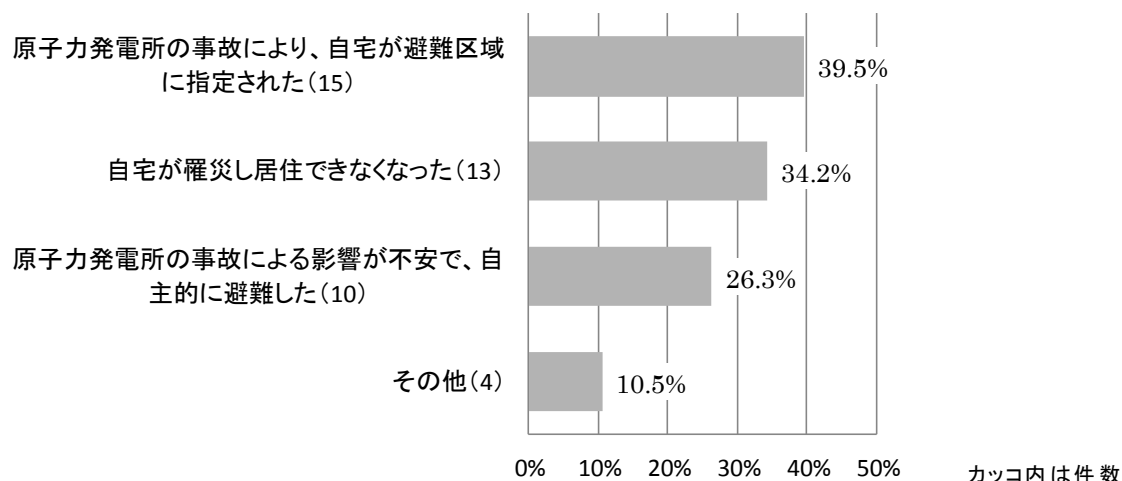
総数 = 86



「無職」(37.2%)が最も多く、次いで「会社員」(17.4%)、「小学生」(11.6%)、「パート・アルバイト」(8.1%)となっている。

[2] 避難の理由について (複数回答有)

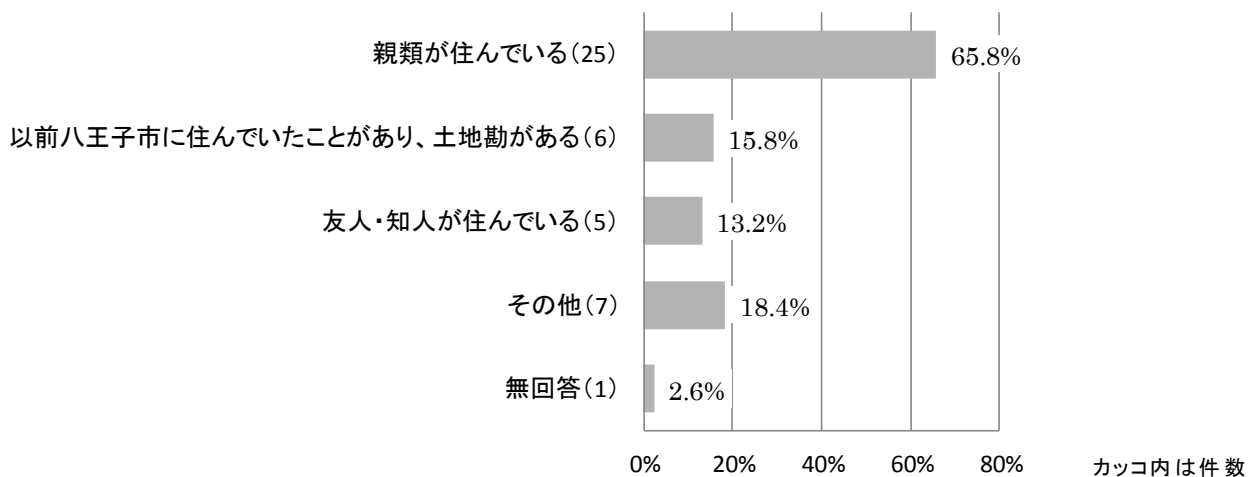
総数 = 38



「原子力発電所の事故により、自宅が避難区域に指定された」(39.5%)が最も多く、次いで「自宅が罹災し居住できなくなった」(34.2%)、「原子力発電所の事故による影響が不安で、自主的に避難した」(26.3%)となっている。「その他」と回答した理由には、「仕事が無くなった」、「インフラがこなくて住めなくなった」、「ヘルパーさんが被災しこなくなった」などが見られた。

[3] 八王子市に避難した理由について（複数回答有）

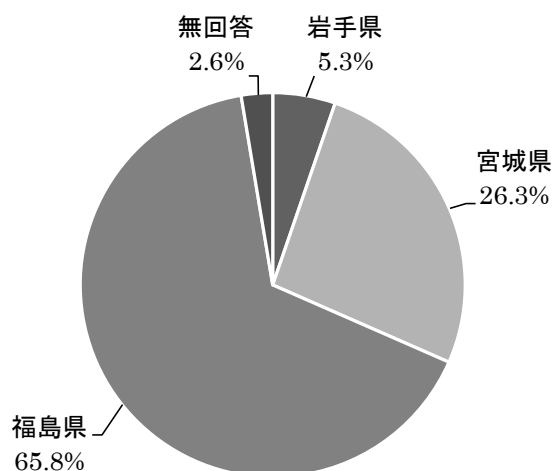
総数 = 38



「親類が住んでいる」（65.8%）が最も多く、次いで「その他」（18.4%）、「以前八王子市に住んでいたことがあり、土地勘がある」（15.8%）となっている。「その他」と回答した理由には、「就職先があった」、「賃貸住宅を紹介された」などが見られた。

[4] 地元（避難元）の住所（県）について

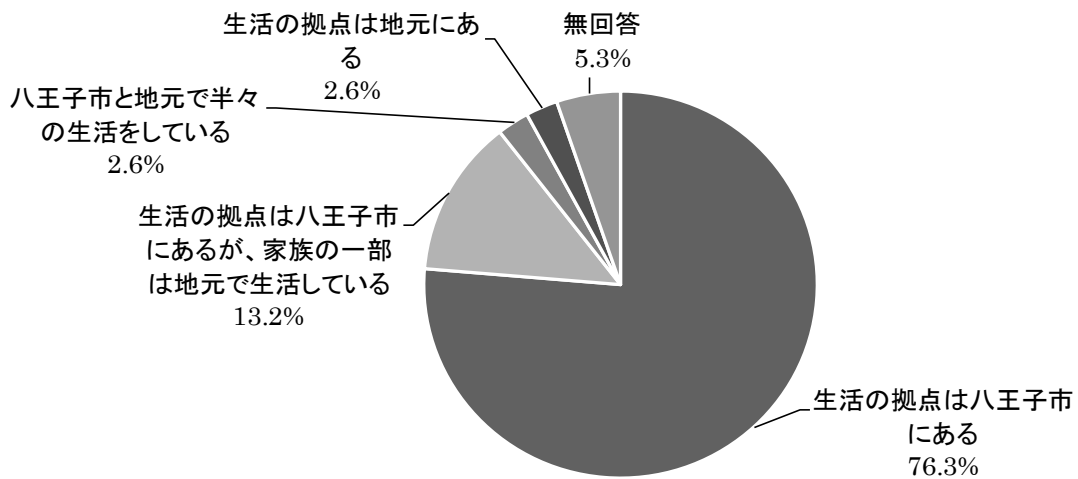
総数 = 38



「福島県」（65.8%）が最も多く、次いで「宮城県」（26.3%）、「岩手県」（5.3%）となっている。

[5] 現在の避難生活の状況について

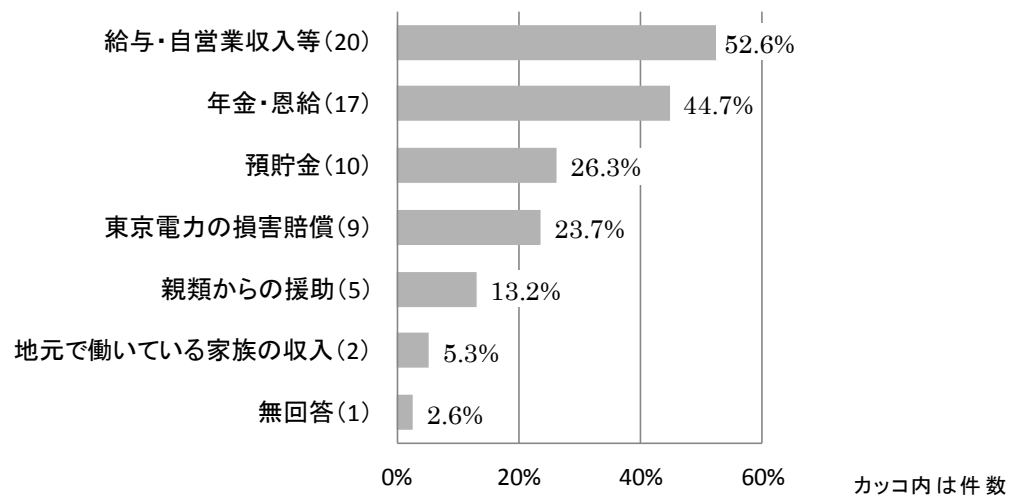
総数 = 38



「生活の拠点は八王子市にある」（76.3%）が最も多く、次いで「生活の拠点は八王子市にあるが、家族の一部は地元で生活している」（13.2%）、「八王子市と地元で半々の生活をしている」・「生活の拠点は地元にある」（2.6%）となっている。

[6] 現在の生活資金について（複数回答有）

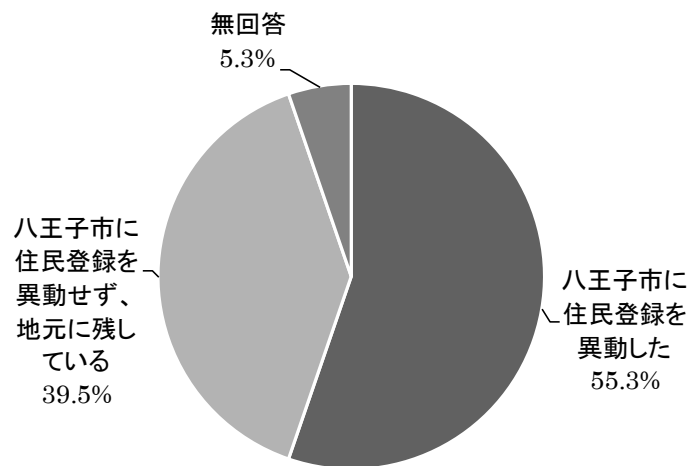
総数 = 38



「給与・自営業収入等」（52.6%）が最も多く、次いで「年金・恩給」（44.7%）、「預貯金」（26.3%）、「東京電力の損害賠償」（23.7%）となっている。

[7] 住民登録について

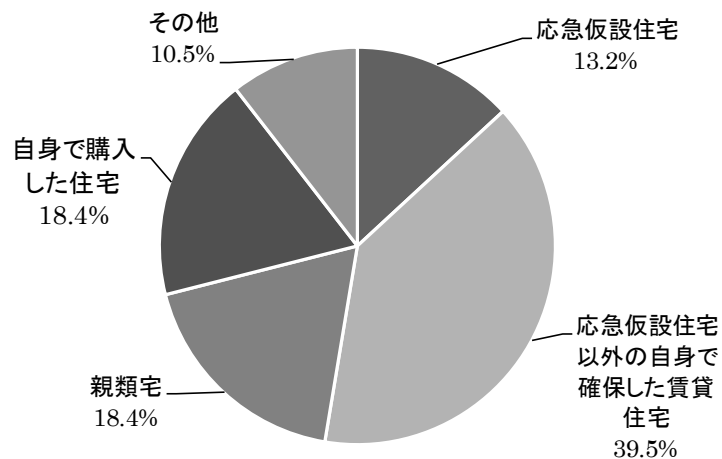
総数 = 38



「八王子市に住民登録を異動した」が 55.3%で、「八王子市に住民登録を異動せず、地元に残している」が 39.5%となっている。「地元に残している」の理由としては、「原発被害の補償を受けるため」が最も多く、そのほか「自宅があるため」、「帰りたいと思っているため」などが見られた。

[8] 現在のお住まいについて

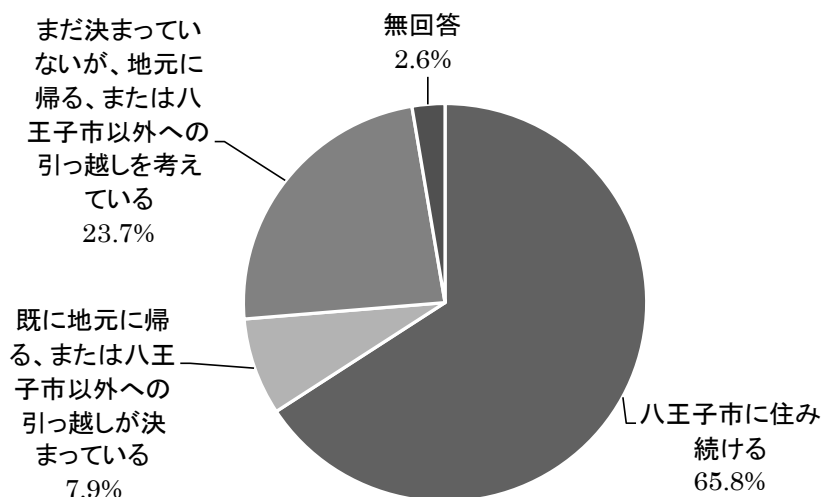
総数 = 38



「応急仮設住宅以外の自身で確保した賃貸住宅」(39.5%)が最も多く、次いで「親類宅」・「自身で購入した住宅」(18.4%)、「応急仮設住宅」(13.2%)となっている。「その他」には、「有料老人ホーム」、「親類所有のアパート」などが見られた。

[9] 今後の居住先について

総数 = 38

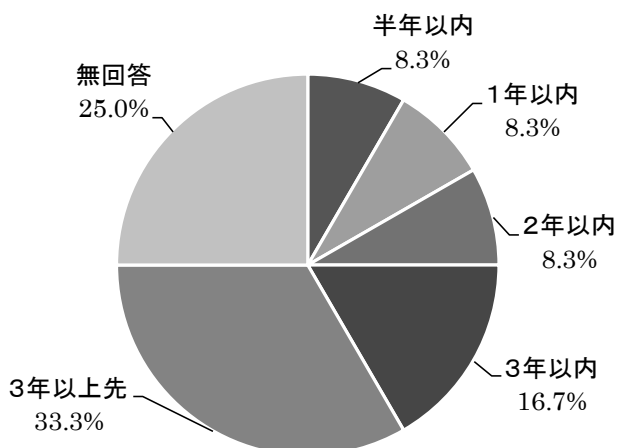


「八王子市に住み続ける」(65.8%) が最も多く、次いで「まだ決まっていないが、地元に戻る、または八王子市以外への引っ越しを考えている」(23.7%)、「既に地元に戻る、または八王子市以外への引っ越しが決まっている」(7.9%) となっている。

[9-1] 引っ越しの時期（予定）について

([9]で「既に地元に戻る、または八王子市以外への引っ越しが決まっている」、「まだ決まっていないが、地元に戻る、または八王子市以外への引っ越しを考えている」とお答えになった方)

総数 = 12



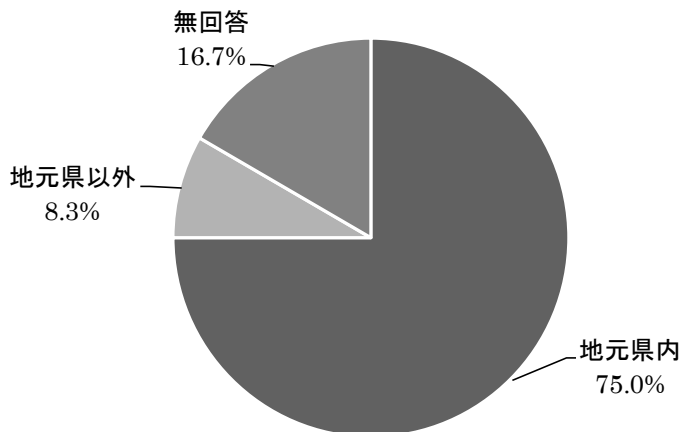
「3年以上先」(33.3%) が最も多く、次いで「3年以内」(16.7%)、「半年以内」・「1年以内」・「2年以内」(8.3%) となっている。

※「半年以内」には既に転出した方を含む。

[9-2] 引っ越し先について

([9]で「既に地元に戻る、または八王子市以外への引っ越しが決まっている」、「まだ決まっていないが、地元に戻る、または八王子市以外への引っ越しを考えている」とお答えになった方)

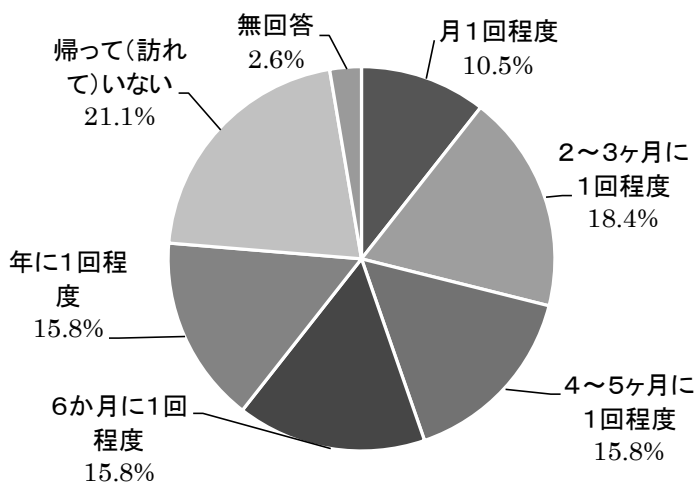
総数 = 12



「地元県内」が 75.0%、「地元県以外」が 8.3%となっている。

[10] 直近1年での地元に戻った（訪れた）頻度について

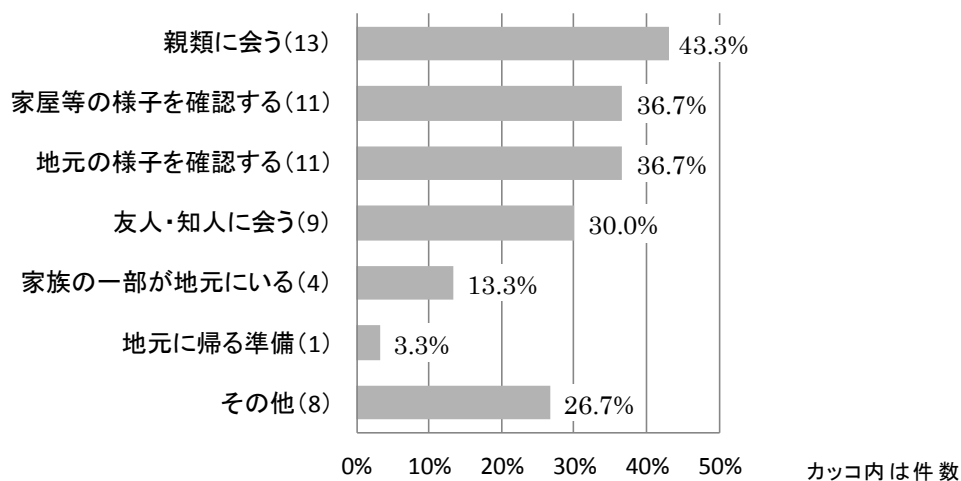
総数 = 38



「帰って（訪れて）いない」（21.1%）が最も多く、次いで「2～3ヶ月に1回程度」（18.4%）、「4～5ヶ月に1回程度」・「6ヶ月に1回程度」・「年に1回程度」（15.8%）となっている。

[10-1] 地元に戻った（訪れた）目的について（複数回答有）
 （[10]で「帰って（訪れて）いない」とお答えになった方を除く）

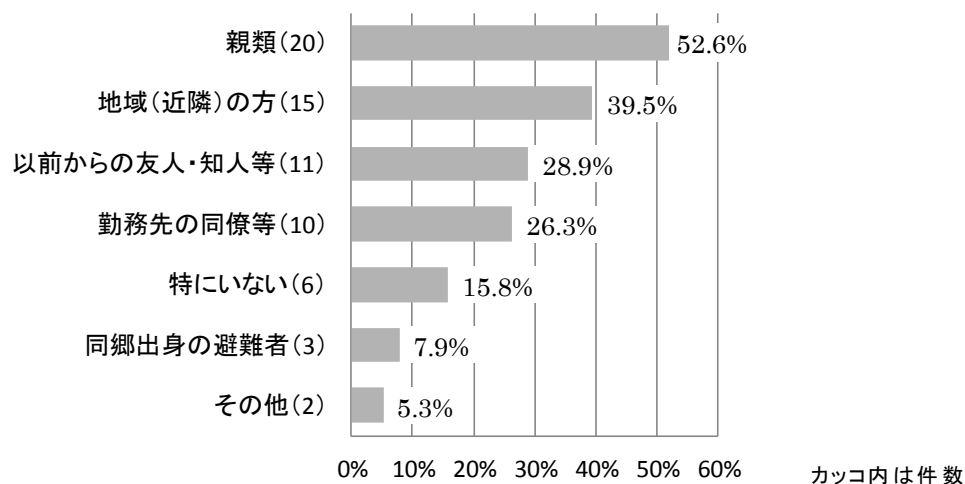
総数 = 30



「親類に会う」（43.3%）が最も多く、次いで「家屋等の様子を確認する」・「地元の様子を確認する」（36.7%）、「友人・知人に会う」（30.0%）となっている。「その他」は、「墓参り」が最も多く、そのほか「仕事」、「会議等」などが見られた。

[11] 現在の八王子市内での人的交流について（複数回答有）

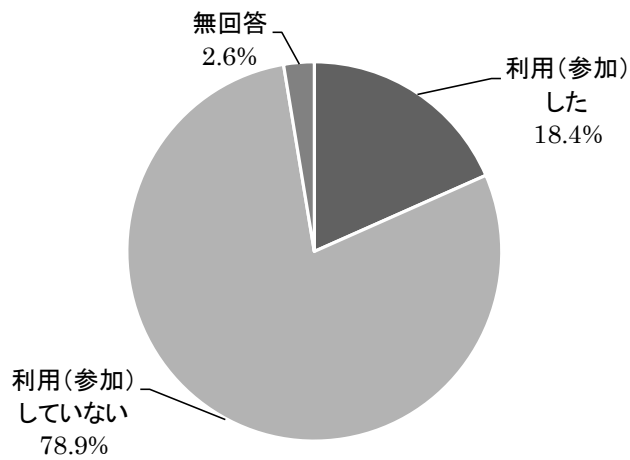
総数 = 38



「親類」（52.6%）が最も多く、次いで「地域（近隣）の方」（39.5%）、「以前からの友人・知人等」（28.9%）となっている。「その他」には、「デイサービスでの知人」、「ヘルパー・ケアマネージャー」などが見られた。

[1 2] 自治体（八王子市を除く）や市民団体等が実施している避難者向けの支援やサービス、イベント等について、直近 1 年以内に利用したり、参加したりしたことはありますか

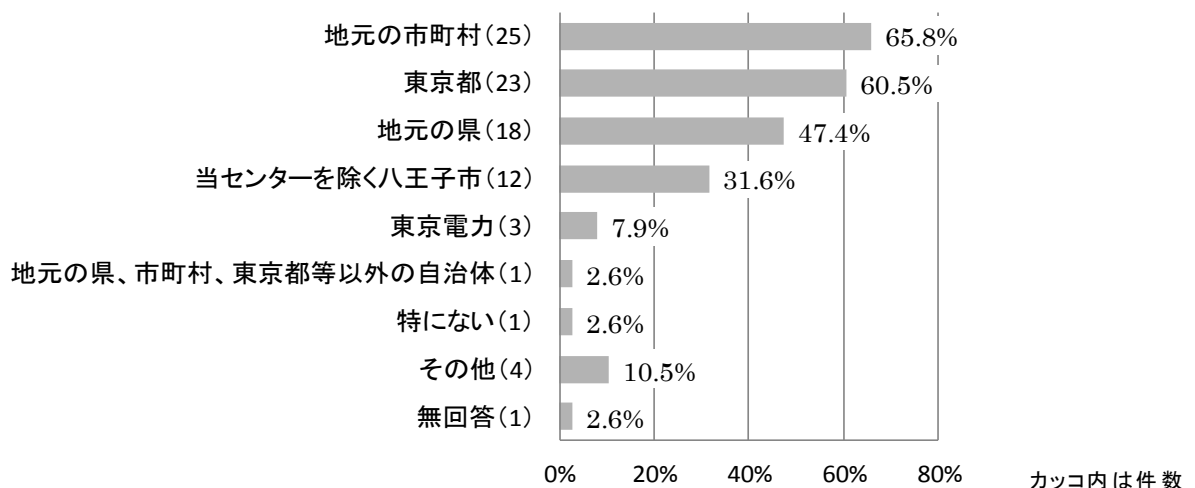
総数 = 38



「利用（参加）した」が 18.4%、「利用（参加）していない」が 78.9%となっている。「利用（参加）した」には、「演劇や演奏などのイベント」や、「同郷の交流会」などが見られた。

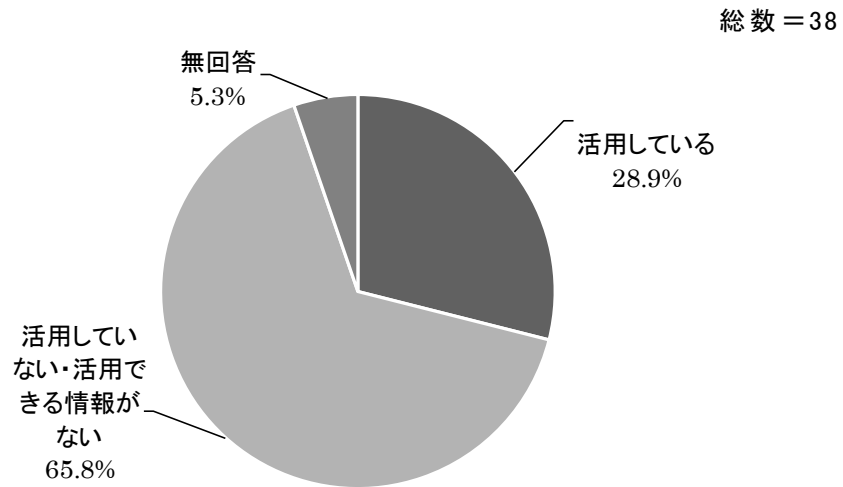
[1 3] 避難者向け各種情報の入手先（八王子市東日本大震災総合相談センターを除く）について（複数回答有）

総数 = 38



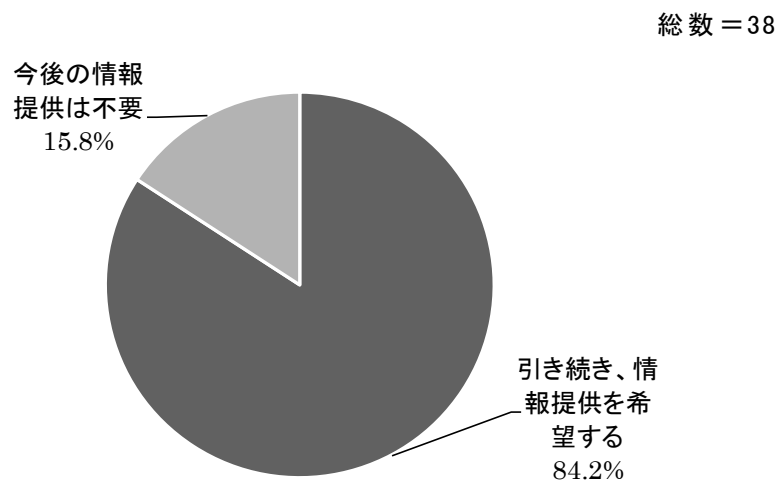
「地元の市町村」（65.8%）が最も多く、次いで「東京都」（60.5%）、「地元の県」（47.4%）、「当センターを除く八王子市」（31.6%）となっている。「その他」には、「テレビ・新聞」、「親類・友人」、「公社や財団」などが見られた。

[1 4] 八王子市東日本大震災総合相談センターから毎月 20 日ころに郵送している情報について、イベント等に参加するなど、活用していますか



「活用している」が 28.9%、「活用していない・活用できる情報がない」が 65.8%となっている。「活用している」には、「夢美術館の展覧会に行った」が最も多くあげられたが、「足腰が悪いので欠席が多い」や「(活用はしていないが、)情報はよく読んでいます」などの意見も見られた。

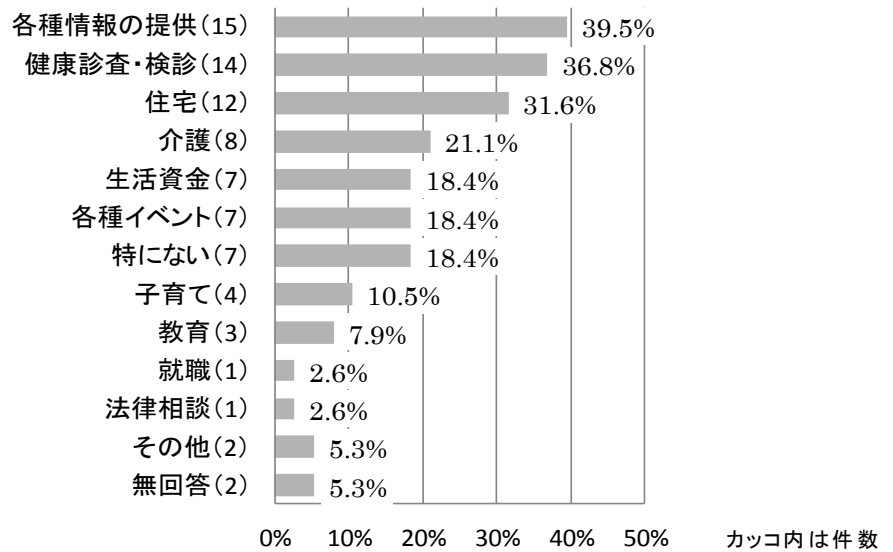
[1 5] 八王子市東日本大震災総合相談センターからの情報の郵送について



「引き続き、情報提供を希望」が 84.2%で、「今後の情報提供は不要」が 15.8%となっている。「今後の情報提供は不要」の理由には、「地元に戻る」、「利用することがない」、「定住する」などが見られた。

[16] 八王子市に期待する支援等について（複数回答有）

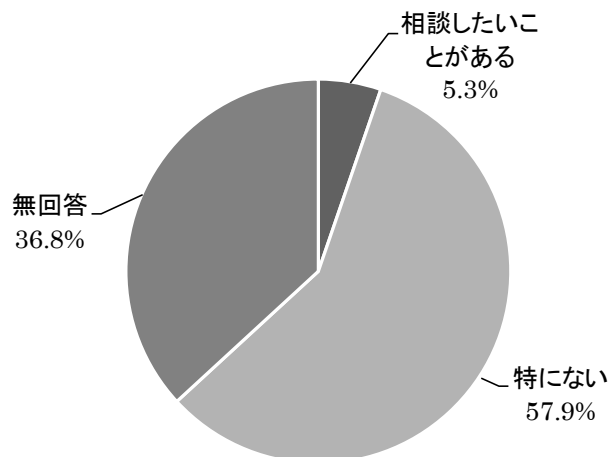
総数 = 38



「各種情報の提供」（39.5%）が最も多く、次いで「健康診査・検診」（36.8%）、「住宅」（31.6%）、「介護」（21.1%）となっている。「その他」（5.3%）には「地元へ仕送りしている分の減税などの支援」、「特別養護老人ホームに入居させてほしい」などが見られた。

[17] 健康や心のケアなど、相談したいことがありますか

総数 = 38



「相談したいことがある」が 5.3%（2 件）で、「特にない」が 57.9%（22 件）となっている。相談したいことの内容には、「介護のこと」などが見られた。

[18] その他ご意見等

全体 38 件のうち 15 件（39.5%）にご意見の記入があった。支援への感謝の言葉が最も多かったが、生活資金や介護、健康の不安を訴える意見も見られた。

八王子市東日本大震災総合相談センター
(市民部市民生活課内)

☎042-620-7227

FAX042-626-2381